

新潟市BRT第1期導入区間運行事業

第一提案に係る条件

本提案においては、平成24年2月に公表した「新潟市新たな交通システム導入基本方針」に加え、以下に掲げる事項を条件としてください。

なお、条件は第一提案の作成を行うためのものであり、審査委員会や関係機関からの指摘・助言を踏まえ、協議のうえ変更する場合があります。

(1) 走行空間

○第1期導入区間における表定速度*1について、専用走行路の区間は15km/h、それ以外の区間は10km/h（概ね現状と同等）と想定して提案してください。

*1：ある地点から別の地点までの距離を、移動で要する時間（停車時間も含む。）で割って求めた平均の速度のこと。

○冬期においても、第一期導入区間および車両基地までの回送路において円滑な走行が確保されるものと想定して提案してください。

(2) BRT車両

○仕様について、以下の基本仕様を想定して提案してください。

■連節バスの基本仕様

- ・定員：130人程度（道路運送車両の保安基準の規定に基づく定員）
- ・乗降用扉：左側3ドア
- ・右ハンドル車
- ・低床車両（ノンステップ車両）
- ・サイズ：車長18m×車幅2.5m×車高3.2m
- ・内燃機関：ディーゼルエンジン

○新潟市が貸与する台数について、8台（予備車を含む。）とした場合を想定して提案してください。

(3) BRT駅

○既存の停留所を参考に、BRTの効果的な運行が可能となるよう以下のとおり配置した場合を想定して提案してください。

○BRT駅（新潟駅、白山駅を除く。）のホームの延長は、連節バス1台と通常バス1台が同時に1台ずつ停車できる延長とした場合を想定して提案してください。

○専用走行路におけるBRT駅のホームは、有効幅員を2m程度で道路中央部に設置した場合を想定して提案してください。



図 BRT駅の位置（※駅名は仮称）

○BRT駅には、雨風をしのぐための上屋や防風壁を配し、利用者がゆったり待てるようにベンチや情報案内機器を設置した場合を想定して提案してください。

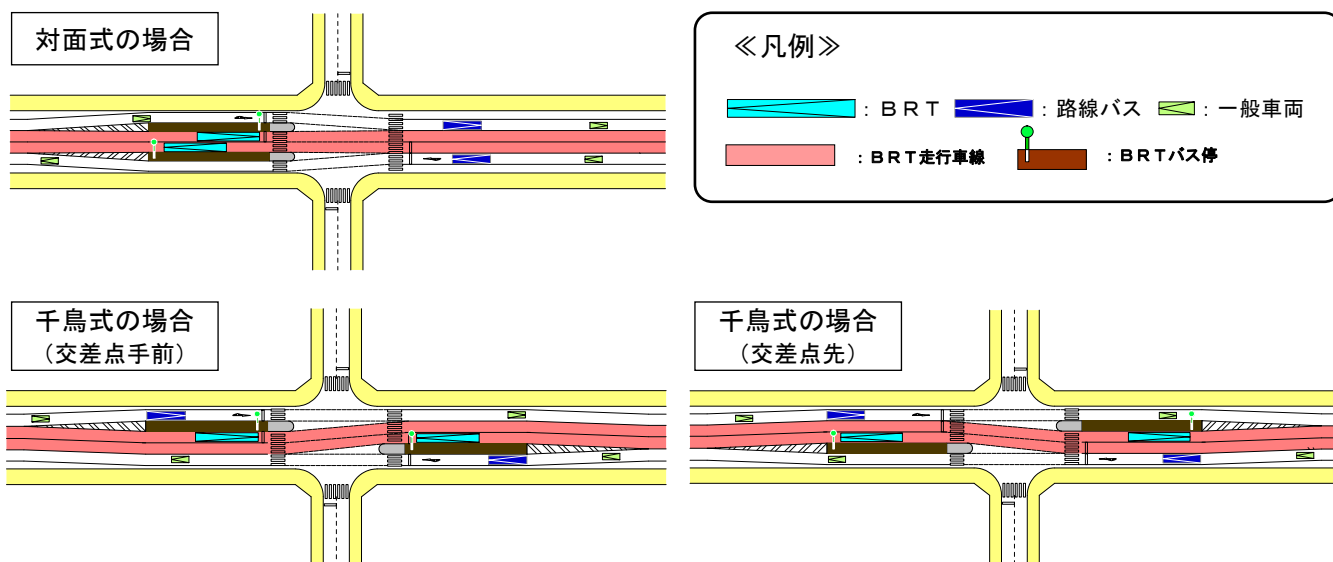


図 専用走行路におけるBRT駅の設置イメージ

(4) 交通結節点

○第1期導入区間において新潟市が整備する交通結節点は、以下に示すとおり、新潟駅、市役所、白山駅の3箇所を想定して提案してください。

■新潟駅：万代広場内

- ・乗降バス：BRTの乗降兼用バス×1バス設置
：バス降車専用バス×2バス設置

■市役所：新設

- ・乗換利用者ができるだけシームレスな乗り換えをできるように、導入ルート上の市役所近傍に設置
- ・乗降バス：BRTは上下線別に乗降兼用で各1バスを設置
：バスバスは上下線別に各3バスを設置
- ・待合スペース：施設内には、利用者が待合するためのスペースを空間的に可能な範囲で確保

■白山駅：北口広場内

- ・乗降バス：BRT乗降兼用バス×1バス設置
：バス乗降兼用バス×1バス設置

(5) 情報案内システム

○利用者にとって発着や乗換に関する運行情報について、BRT駅や交通結節点、BRT車両内で案内できることを想定して提案してください。

(6) 事業方式

○公共が整備・所有する車両や関連施設については、運行事業者に無償で貸与するとの想定で提案してください。

○施設（インフラ外施設）の日常的な維持管理は、運行事業者の負担により行うこととして提案してください。

○本事業における公設の部分については、老朽化や不測の天災等による施設（インフラ外施設）の改修や保全等の費用について、本市が負担するものとして提案してください。ただし、詳細については基本協定締結後の協議によるものとします。